

鳥羽商船高等専門学校学則

制 定 平成16年 4月 1日
最終改正 令和 7年 1月14日

第1章 総則

(目的)

第1条 本校は、教育基本法(昭和22年法律第25号)、学校教育法(昭和22年法律第26号)及び独立行政法人国立高等専門学校機構法(平成15年法律第113号)に基づき、職業に必要な実践的かつ専門的な知識及び技術を有する創造的な人材を育成するとともに、我が国の高等教育の水準の向上と均衡ある発展を図ることを目的とする。

第2章 修業年限、学年、学期、休業日及び授業終始の時刻

(修業年限及び在学期間)

第2条 修業年限は、商船に関する学科については5年6か月とし、工業に関する学科については5年とする。

2 商船に関する学科の修業年限のうち、4年6か月を席上課程とし、1年を大型練習船による実習課程とする。

3 大型練習船による実習課程のうち、1か月の実習を短期実習、5か月の実習を前期長期実習、6か月の実習を後期長期実習とする。

4 第2項の規定にかかわらず、後期長期実習については、やむを得ない事由がある場合は別に定める措置をとることができる。

5 在学期間は、修業年限の2倍を超えることはできない。

(学年)

第3条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。ただし、商船に関する学科の卒業年次にあつては、4月1日に始まり、大型練習船実習課程修了時に終わる。

(学期)

第4条 学年を分けて、次の2学期とする。ただし、校長が必要と認める場合は、前期の終了日及び後期の開始日を変更することができる。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第5条 休業日は、次のとおりとする。ただし、特別の必要があるときは、校長はこれらの休業日を授業日に振り替えることがある。

(1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

(2) 日曜日及び土曜日

(3) 春季休業

(4) 夏季休業

(5) 冬季休業

(6) 学年末休業

2 前項第3号から第6号までに規定する休業日は、校長が別に定める。

3 前項に規定する休業日のほか、臨時の休業日は、校長がその都度定める。

(授業終始の時刻)

第6条 授業終始の時刻は、校長が別に定める。

第3章 学科、学級数、入学定員及び教職員組織

(学科、学級数及び入学定員並びに教育目的)

第7条 学科、学級数及び入学定員は、次のとおりとし、学科ごとの教育目的は別に定めるところによる。

学 科	コース	学 級 数	入学定員
商船に関する学科 商 船 学 科		1	40人
工業に関する学科 情報機械システム工 学科	総合工学 コース	2	60人
	高度情報工学 コース	1	40人

2 前項の規定にかかわらず、教育上有益と認めるときは、異なる学科の学生をもって学級を編成することができる。

(教職員組織)

第8条 本校に、校長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及び技術職員を置く。

2 教職員の職務は、学校教育法その他の法令の定めるところによる。

(主事)

第9条 本校に、教務主事、学生主事及び寮務主事を置く。

2 教務主事は、校長の命を受け、教育計画の立案その他教務に関することを掌理する。

3 学生主事は、校長の命を受け、学生の厚生補導に関すること（寮務主事の所掌に属するものを除く。）を掌理する。

4 寮務主事は、校長の命を受け、学寮における学生の厚生補導に関することを掌理する。

(事務部)

第10条 本校に、校務に関する事務を処理するため事務部を置く。

(その他内部組織)

第11条 前2条に規定するもののほか、本校の内部組織は、別に定めるところによる。

第4章 教育課程等

(1年間の授業期間)

第12条 1年間の授業を行う期間は、期末試験等の期間を含め、35週以上にわたることを原則とする。

(授業日数)

第13条 授業日数とは、学校が定めた学校行事日及び科目の授業日を合わせた日数をいう。

(授業科目及び履修単位数)

第14条 教育課程は、授業科目及び特別活動により編成するものとする。

2 授業科目及びその履修単位数は、一般科目にあっては別表第1、専門科目にあっては別表第2のとおりとする。

3 1単位の科目を45時間（1単位時間は標準50分とする。）の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、1単位に必要な授業時数を以下の通り計算することができる。

4 科目の1単位を、30単位時間（1単位時間は標準50分とする。以下同じ。）の履修として計算し、これを「履修単位」という。

5 科目の1単位を、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算し、これを「学修単位」という。

講義及び演習については、15単位時間、実験、実習及び実技については、30単位時間の授業をもって1単位とする。

- 6 前項の規定により計算することのできる授業科目の単位数の合計は、全学年の課程を修了するために必要な修得単位数のうち 60 単位を超えないものとする。
- 7 前 3 項の規定にかかわらず、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位の修得を認定することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。
- 8 特別活動は、第 1 学年から第 3 学年まで各学年 30 単位時間以上実施する。
(他の高等専門学校における授業科目の履修)

第 15 条 校長は、教育上有益と認めるときは、学生が他の高等専門学校において履修した授業科目について修得した単位を、30 単位を超えない範囲で本校における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

(高等専門学校以外の教育施設等における学修等)

第 16 条 校長は、教育上有益と認めるときは、学生が行う大学における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本校における授業科目の履修とみなし、単位の修得を認定することができる。

- 2 前項により認定することができる単位数は、前条により本校において修得したものとみなす単位数と合わせて 30 単位を超えないものとする。
- 3 第 1 項に関し必要な事項は、別に定める。

(成績評価)

第 17 条 各学年の課程の修了又は卒業を認めるにあたっては、平素の成績を評価して行うものとする。

(原級留置)

第 18 条 前条の認定の結果、原学年にとどめられた者について、第 1 学年から第 3 学年にあっては、当該学年に係る全授業科目を再履修するものとする。第 4 学年及び第 5 学年にあっては、当該学年の未修得科目を修得する。なお、再履修した第 4 学年の場合は、第 5 学年の科目(選択科目に限る)を修得できるものとする。

第 5 章 入学、休学、退学、留学及び卒業

(入学資格)

第 19 条 入学することのできる者は、次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 中学校を卒業した者
- (2) 義務教育学校を卒業した者
- (3) 中等教育学校の前期課程を修了した者
- (4) 外国において学校教育における 9 年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (7) 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則(昭和 41 年文部省令第 36 号)により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- (8) その他相当の年齢に達し本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(入学志願の手続)

第 20 条 入学を志願する者は、入学願書に入学検定料及び所定の書類を添えて願い出なければならない。

(入学者の選抜)

第 21 条 校長は、入学志願者について学力検査の成績及び出身学校の長から送付された調査書その他必要な書類等を資料として入学者の選抜を行う。

- 2 入学者の選抜は、前項の選抜方法によるほか校長の定めるところにより、入学定員の一部について、別に定める資料及び方法により入学者を選抜することもできる。

(入学手続及び入学許可)

第 22 条 前条の選抜の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、入学料を納付するとともに在学中の保護者等と連署した入学誓約書及び校長が定める書類を提出しなければならない。

2 校長は、前項の入学手続を完了した者に対して入学を許可する。ただし、入学料の納付については、入学料免除又は徴収猶予の申請を受理された者にあつては、この限りでない。

(編入学)

第 23 条 第 1 学年の途中又は第 2 学年以上に入学を希望する者があるときは、校長は、その者が相当年齢に達し、当該学年に在学する者と同等以上の学力があると認めた場合に限り、前 2 条の規定に準じて相当学年に入学を許可することがある。

2 編入学に関し必要な事項は、別に定める。

(転学科)

第 24 条 転学科又は転コースを希望する者があるときは、校長は、選考の上、相当学年に転学科又は転コースを許可することがある。

2 前項に関し必要な事項は、別に定める。

(休学)

第 25 条 学生は、疾病その他やむを得ない事由により、3 か月以上継続して修学することができないときは、校長の許可を受けて休学することができる。

第 26 条 休学の期間は、1 年以内とする。ただし、特別の事由がある場合は休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は通算して 3 年を超えることができない。ただし、休学の事由が海外研修等の場合で校長の許可を得たときは、当該期間は本項の休学期間に算入しない。

(復学)

第 27 条 休学した者は、休学の事由がなくなったときには校長の許可を受けて、復学することができる。

(出席停止)

第 28 条 学生に伝染病その他の疾病があるときは、校長は、出席停止を命じることがある。

(退学)

第 29 条 学生は、疾病その他やむを得ない事由により退学しようとするときは、校長の許可を受けて退学することができる。

(再入学)

第 30 条 前条の規定により退学した者で再入学を希望する者があるときは、校長は、選考の上相当学年に入学を許可することがある。

2 再入学に関し必要な事項は、別に定める。

(除籍)

第 31 条 校長は、次の各号の一に該当する者は、これを除籍する。

- (1) 長期間にわたり行方不明の者
- (2) 授業料及び寄宿料の納付を怠り督促しても、なお納付しない者
- (3) 第 22 条第 2 項ただし書に規定するところにより、入学料免除又は徴収猶予の申請書を受理され、免除若しくは徴収猶予を不許可とされた者又は半額免除を許可された者で、免除の不許可又は許可を告知した日から起算して 14 日以内に納付すべき入学料を納付しない者
- (4) 第 26 条に規定する休学期間を超えて、なお修学できない者
- (5) 第 55 条の規定により入学料の徴収を猶予された者で、年度内に納付しない者

(留学)

第 32 条 校長は、教育上有益と認めるときは、学生が外国の高等学校又は大学に留学することを許可することができる。

2 校長は、前項の規定により留学することを許可された学生について、外国の高等学校又は大学における履修を本校における履修とみなし、30 単位を超えない範囲で単位の修得を認定することができる。

3 校長は、前項の規定により単位の修得を認定された学生について、学年の途中においても各学年の課程の修了又は卒業を認めることができる。

4 前 3 項に関し必要な事項は別に定める。

(卒業)

第 33 条 校長は、全学年の課程を修了した者に卒業証書を授与する。

(準学士)

第 34 条 前条の卒業者は、準学士と称することができる。

第 6 章 専攻科

(設置)

第 35 条 本校に、専攻科を置く。

(目的)

第 36 条 専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に高度の専門的学術を教授し、専門領域の幅を拡大するとともに、国際的感覚と広い視野をもって研究・技術開発能力、創造能力を発揮できる実践的専門技術者を育成することを目的とする。

(専攻及び入学定員)

第 37 条 専攻科の専攻及び入学定員は、次のとおりとする。

専 攻	入 学 定 員
海事システム学専攻	4 人
生産システム工学専攻	8 人

(入学資格)

第 38 条 専攻科に入学できる者は、次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 高等専門学校を卒業した者
 - (2) 短期大学を卒業した者
 - (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第 132 条の規定により大学に編入学することができる者
 - (4) 外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者
 - (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者
 - (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (7) その他、本校が高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (入学者の選抜及び入学許可)

第 39 条 校長は、専攻科の入学志願者について、別に定めるところにより選抜のうえ、入学を許可する。

(教育課程)

第 40 条 専攻科の授業科目及びその単位数は、別表第 3 のとおりとする。

(修業年限及び在学期間)

第 41 条 専攻科の修業年限は、2 年とする。ただし、4 年を超えて在学することはできない。

(学年)

第 42 条 学年は、生産システム工学専攻にあつては、4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終わ

り、海事システム学専攻にあつては、10月1日に始まり翌年9月30日に終わる。

(学期)

第43条 学年を分けて、専攻ごとに次の2学期とする。

海事システム学専攻

秋期 10月1日から翌年3月31日まで

春期 4月1日から9月30日まで

生産システム工学専攻

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第44条 休業日は、次のとおりとする。ただし、特別の必要があるときは、校長はこれらの休業日を授業日に振り替えることがある。

- (1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- (2) 日曜日及び土曜日
- (3) 春季休業
- (4) 夏季休業
- (5) 冬季休業
- (6) 学年末休業

2 前項第3号から第6号までに規定する休業日は、校長が別に定める。

3 前項に規定する休業日のほか、臨時の休業日は、校長がその都度定める。

(休学の期間)

第45条 専攻科学生の休学の期間は、1年以内とし、特別の事由がある場合は休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は通算して2年を超えることができない。ただし、休学の事由が海外研修等の場合で校長の許可を得たときは、当該期間は本項の休学期間に算入しない。

3 休学の期間は、第41条に定める修業年限及び在学期間に算入しない。

(修了)

第46条 専攻科に2年以上在学し、所定の授業科目を履修し62単位以上を修得した者については、修了を認定する。

2 校長は、修了を認定した者に対し、所定の修了証書を授与する。

(準用規定)

第47条 専攻科学生については、第6条、第12条、第16条、第17条、第25条、第27条から第32条まで、第51条から第54条まで、第59条から第61条までの規定を準用する。

この場合において、第16条第2項及び第32条第2項の「30単位」とあるのは「16単位」と、第31条第4号中「第26条」とあるのは「第45条」と、第32条第1項中「外国の高等学校又は大学」とあるのは「外国の大学」とそれぞれ読み替えるものとする。

第48条 本章に定めるもののほか、専攻科に関し必要な事項は別に定める。

第7章 入学検定料、入学料、授業料及び寄宿料

(授業料等の額及び徴収)

第49条 検定料、入学料、授業料及び寄宿料の額及び徴収方法等は、独立行政法人国立高等専門学校機構における授業料その他の費用に関する規則(平成16年4月1日独立行政法人国立高等専門学校機構規則第35号)の定めるところによる。

第50条～第54条まで 削除

(入学料の免除及び徴収猶予)

第55条 入学前1年以内において、学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合、その他やむを得ない事情により入学料の納付が著しく困難であると認める場

合には、入学料の全額若しくは半額を免除し、又はその徴収を猶予することができる。

(授業料の免除及び徴収猶予)

第 56 条 経済的理由により、授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合又は休学、死亡その他やむを得ない事情があると認められる場合には、授業料の全額若しくはその一部を免除し、又はその徴収を猶予することができる。

(寄宿料の免除)

第 57 条 風水害等の災害を受けたことにより、寄宿料の納付が困難であると認められる場合には、寄宿料の全部を免除することができる。

(授業料等の還付)

第 58 条 授業料等の還付については、独立行政法人国立高等専門学校機構における授業料等の還付に関する規則（平成 25 年 3 月 29 日独立行政法人国立高等専門学校機構規則第 115 号）の定めるところによる。

第 8 章 学生準則及び賞罰

(学生準則)

第 59 条 学生は、この学則に定めるもののほか、別に定める学生準則を遵守しなければならない。

(表彰)

第 60 条 学生として表彰に値する行為があるときは、表彰することができる。

2 表彰に関し必要な事項は、別に定める。

(懲戒)

第 61 条 教育上必要があるときは、学生に退学、停学、訓告その他の懲戒を加えることがある。ただし、退学は次の各号の一に該当する者について行うものとする。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学業を怠り成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由がなくて出席が常でない者
- (4) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

2 懲戒に関し必要な事項は、別に定める。

3 停学期間は在学期間を含め、修業年限には含めない。ただし、1 回の停学期間が 1 か月未満または、特別に校長が認める場合は、修業年限に含めることができる。

第 9 章 図書館

(図書館)

第 62 条 本校に図書館を置く。

2 図書館の管理運営その他必要な事項は、別に定める。

第 10 章 学寮

(学寮)

第 63 条 本校に学寮を設ける。

2 学寮の管理運営その他必要な事項は、別に定める。

第 11 章 練習船

(練習船)

第 64 条 本校に練習船を置く。

2 練習船に関する規定は、別に定める。

第 12 章 公開講座

(公開講座)

第 65 条 本校に公開講座を設けることができる。

2 公開講座について必要な事項は、別に定める。

第 13 章 外国人留学生

(外国人留学生)

第 66 条 外国人留学生として本校に入学を希望する者がある場合は、選考のうえ入学を許可することがある。

2 外国人留学生には、別に定めるもののほか、この学則を準用する。

第 1 4 章 研究生、聴講生及び科目等履修生

(研究生)

第 67 条 本校において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ、研究生として入学を許可することができる。

2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

(聴講生)

第 68 条 本校の授業科目のうち、特定の科目について聴講することを志願する者があるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ、聴講生として入学を許可することができる。

2 聴講生に関し必要な事項は、別に定める。

(科目等履修生)

第 69 条 本校の授業科目のうち、特定の科目について履修することを志願する者があるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ、科目等履修生として入学を許可することができる。

2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

2 この学則の規定にかかわらず、平成 16 年 3 月 31 日に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 16 年 4 月 1 日以後に在学者の属する年次に編入学・再入学する者に係る教育課程、履修方法、卒業等については、なお、従前の例による。

附 則

この学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 20 年 6 月 17 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 21 年 2 月 17 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 21 年 9 月 16 日から施行し、平成 21 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、平成 23 年 3 月 3 日から施行し、平成 23 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

1 この学則は、平成 23 年 5 月 17 日から施行し、平成 23 年 4 月 1 日から適用する。

2 この学則の規定にかかわらず、平成 23 年 4 月 1 日に在学する者については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 24 年 12 月 11 日から施行し、平成 25 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、平成 25 年 9 月 11 日から施行し、平成 25 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成 26 年 5 月 20 日から施行し、平成 26 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 平成 22 年度以前に入学した学年にかかる教育課程については、改正後の学則別表第 1、2 の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、平成 23 年度以降に入学した学生と同一学年となる学生については、この規定による。
- 3 平成 26 年 3 月 31 日に専攻科に在学する者については、改正後の学則別表第 3 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 26 年度以前に入学した学年にかかる教育課程については、改正後の学則別表第 1、2 の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、平成 26 年度第 1 学年の学生が 1 年次から再履修する場合は、この規定による。

附 則

この学則は、平成 27 年 5 月 19 日から施行し、平成 27 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 28 年 5 月 17 日から施行し、平成 28 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 平成 24 年度以前に入学した学年にかかる教育課程については、改正後の学則別表第 2 の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、平成 25 年度以降に入学した学生と同一学年となる学生については、この規定による。

附 則

この学則は、平成 28 年 10 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 29 年 1 月 12 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 29 年 10 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 7 月 17 日から施行し、平成 30 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、平成 30 年 9 月 5 日から施行し、平成 31 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成 30 年度以前に入学した者及び平成 31 年度以降に平成 30 年度以前に入学した者の属する学年に入学する者については、改正後の第 7 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、令和元年 5 月 14 日から施行する。

附 則

この学則は、令和 2 年 7 月 21 日から施行し、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、令和 3 年 7 月 21 日から施行する。

附 則

この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、令和 4 年 7 月 19 日から施行し、令和 4 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、令和 4 年 10 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

別表第1 (第14条関係)
平成31年度以降入学生

一般科目 (商船学科)

授 業 科 目	学 修 単 位	単 位 数	学 年 配 当					備 考	
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年		
人文・社会	国 語 1	2	2						
	国 語 2	2		2					
	国 語 3	2			2			留学生を除く	
	歴 史 1	2	2						
	歴 史 2	2		2					
	現 代 社 会	2			2			留学生を除く	
	日 本 語 教 育 1	2			2			留学生のみ	
	日 本 語 教 育 2	2			2			留学生のみ	
	自然科学	基 礎 数 学 1	2	2					
		基 礎 数 学 2	2	2					
基 礎 数 学 3		2	2						
基 礎 数 学 4		2		2					
微 分 積 分 1		2		2					
微 分 積 分 2		2			2				
代 数 ・ 幾 何 1		2		2					
代 数 ・ 幾 何 2		2			2				
物 理 1		2	2						
物 理 2		2		2					
理 科 総 合 学	2		2						
保健・体育	保 健 体 育 1	2	2						
	保 健 体 育 2	2		2					
	保 健 体 育 3	2			2				
芸術	書 道								
	美 術	2	2					1科目選択	
	音 楽								
外国語	English Communication1	2	2						
	English Communication2	2	2						
	English Communication3	2		2					
	English Communication4	2		2					
	English Expression1	2	2						
	English Expression2	2		2					
	Level Up English1	2			2				
	Level Up English2	2			2				
	英 語 1	1				1			
	英 語 2	1					1		
英 語 3	1					1			
英 語 4	1					1			
一 般 基 礎 教 育 1	2	2							
一 般 基 礎 教 育 2	1		1						
小 計		67	24	23	16	1	3		
選択科目	人 文 ・ 社 会	○	2				2		
	国 語 表 現 概 論	○	2					2	
	国 際 関 係 論	○	2				2		
	社 会 政 策 論	○	2					2	
	法 学	○	2					2	
	日 本 語 教 育 3	○	2				2		留学生のみ
	日 本 語 教 育 4	○	2					2	留学生のみ
	科 学 自 然	○	2				2		
	応 用 科 学 1	○	2					2	
	応 用 科 学 2	○	2						
体 育 保 健		1				1			
ス ポー ツ 健 康 学 実 習 1		1					1		
ス ポー ツ 健 康 学 実 習 2		1							
開 設 単 位 数 合 計		16	0	0	0	7	9	留学生は 4年9単位 5年11単位	
※) 選 択 科 目 単 位 数		8以上	0	0	0	8以上			
合 計		75以上	24	23	16	12以上			
特 別 教 育 活 動		3	1	1	1				

※) 選択科目単位数に、鳥羽商船高等専門学校以外の教育施設等における学修等に関する規則別表2に掲げる技能審査の単位数を加算することが出来る。なお、技能審査が単位認定された学年を問わず選択科目の修得単位に含めるものとする。

令和7年4月以降入学生

	授業科目	学修単位	単位	学年別配当					備考
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修	人文・社会	国語 1	2	2					
		国語 2	2		2				
		国語 3	2			2			留学生除く
		歴史 1	2	2					
		歴史 2	2		2				
		現代社会	2			2			留学生を除く
		日本語教育 1	2			2			留学生のみ
	日本語教育 2	2			2			留学生のみ	
	自然科学	基礎数学 1	2	2					
		基礎数学 2	2	2					
		基礎数学 3	2	2					
		基礎数学 4	2		2				
		微分積分 1	2		2				
		微分積分 2	2			2			
		代数・幾何 1	2			2			
		代数・幾何 2	2				2		
		物理 1	2	2					
		物理 2	2		2				
	理科総合	2		2					
	化学	2			2				
	保健・体育	保健体育 1	2	2					
		保健体育 2	2		2				
		保健体育 3	2			2			
	芸術	書道							1科目選択
		美術	2	2					
		音楽							
	外国語	English Communication1	2	2					
		English Communication2	2	2					
		English Communication3	2		2				
		English Communication4	2			2			
		English Expression1	2	2					
		English Expression2	2		2				
		Level Up English1	2			2			
Level Up English2		2			2				
一般基礎教育 1	2	2							
一般基礎教育 2	1		1						
開設単位数合計			63	24	23	16	0	0	
選択科目	コミュニケーションスキル	○	2				2		生顧
	プレゼンテーションスキル	○	2				2		生顧
	国際関係論	○	2				2		生ビ国
	社会政策論	○	2					2	生
	経済学	○	2				2		顧ビ
	法学	○	2					2	顧
	応用科学 1	○	2				2		開
	応用科学 2	○	2				2		開
	総合英語 1	○	2				2		国※
	総合英語 2	○	2				2		国※
	総合英語 3	○	2					2	国※
	総合英語 4	○	2					2	国※
	実用英語 1	○	2						※☆
	実用英語 2	○	2						※☆
	応用数学 1	○	2				2		開
	応用数学 2	○	2				2		開
	応用数学 3	○	2					2	開
	応用数学 4	○	2					2	開
	ビジネス基礎	○	2				2		ビ
	工業簿記	○	2				2		ビ
	日本語教育 3	○	2				2		留学生のみ
	日本語教育 4	○	2					2	留学生のみ
	スポーツ健康学実習 1		1				1		
スポーツ健康学実習 2		1					1		
開設単位数合計			46	0	0	0	25	13	留学生は 4年27単位 5年15単位
※) 選択科目単位数			12以上	0	0	0	12以上		※) 英語科目4 単位以上修得
合計			75以上	24	23	16	12以上		

特別教育活動	3	1	1	1
--------	---	---	---	---

志向性ユニットの備考欄はユニットの略称。 開は開発・設計、生は生産技術、雇は、顧客対応、ビはビジネス基礎、国は国際性の略。

☆) 選択科目単位数に、鳥羽商船高等専門学校以外の教育施設等における学修等に関する規則別表2に掲げる技能審査の単位を「実用英語」の単位として認定することができる。なお、技能審査が単位認定された学年を問わず選択科目の修得単位に含めるものとする。

別表第1(第14条関係)

授業科目		学修 単位	単位	学年別配当					備考	
				1年	2年	3年	4年	5年		
必修	人文・社会	国 語 1	2	2						
		国 語 2	2		2					
		国 語 3	2				2			留学生を除く
		歴 史 1	2	2						
		歴 史 2	2		2					
		現 代 社 会	2				2			留学生を除く
		日 本 語 教 育 1	2				2			留学生のみ
	日 本 語 教 育 2	2				2			留学生のみ	
	自然科学	基 礎 数 学 1	2	2						
		基 礎 数 学 2	2	2						
		基 礎 数 学 3	2	2						
		基 礎 数 学 4	2		2					
		微 分 積 分 1	2		2					
		微 分 積 分 2	2				2			
		代 数 ・ 幾 何 1	2		2					
		代 数 ・ 幾 何 2	2				2			
		物 理 1	2	2						
		物 理 2	2		2					
	理 科 総 合	2		2						
	化 学	2				2				
	保健・体育	保 健 体 育 1	2	2						
保 健 体 育 2		2		2						
保 健 体 育 3		2				2				
芸術	書 道									
	美 術	2	2						1科目選択	
	音 楽									
外国語	English Communication1	2	2							
	English Communication2	2	2							
	English Communication3	2		2						
	English Communication4	2		2						
	English Expression1	2	2							
	English Expression2	2		2						
	Level Up English1	2				2				
	Level Up English2	2				2				
一 般 基 礎 教 育 1	2	2								
一 般 基 礎 教 育 2	1		1							
開設単位数合計		63	24	23	16	0	0			
選択	志向性ユニット	コミュニケーションスキル	○	2			2		生願	
		プレゼンテーションスキル	○	2			2		生願	
		国際関係論	○	2			2		生ビ国	
		社会政策論	○	2				2	生	
		経済学	○	2			2		願ビ	
		法学	○	2				2	願	
		応用科学1	○	2			2		開	
		応用科学2	○	2			2		開	
		総合英語1	○	2			2		国	
		総合英語2	○	2			2		国	
		総合英語3	○	2				2	国	
		総合英語4	○	2				2	国	
		応用数学1	○	2			2		開	
		応用数学2	○	2			2		開	
		応用数学3	○	2				2	開	
		応用数学4	○	2				2	開	
		ビジネス基礎	○	2			2		ビ	
		工業簿記	○	2			2		ビ	
		日 本 語 教 育 3	○	2			2		留学生のみ	
	日 本 語 教 育 4	○	2				2	留学生のみ		
	スポーツ健康学実習1		1				1			
	スポーツ健康学実習2		1					1		
	開設単位数合計		38	0	0	0	25	13	留学生は 4年27単位 5年15単位	
※)選択科目単位数		12以上	0	0	0	12以上				
合計		75以上	24	23	16	12以上				
特別教育活動		3	1	1	1					

志向性ユニットの備考欄はユニットの略称。開は開発・設計、生は生産技術、願は顧客対応、ビはビジネス基礎、国は国際性の略。

※)選択科目単位数に、鳥羽商船高等専門学校以外の教育施設等における学修等に関する規則別表2に掲げる技能審査の単位数を加算することが出来る。なお、技能審査が単位認定された学年を問わず選択科目の修得単位に含めるものとする。

別表第2（第14条関係）
令和7年度以降入学生

専門科目（商船学科）

授業科目	学修単位	単位	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
航 海 概 論		2	2					
機 関 概 論		2	2					
電 気 電 子 理 論		2		2				
基 礎 船 舶 工 学		2		2				
情 報 リ テ ラ シ ー 1		1	1					
情 報 リ テ ラ シ ー 2		1		1				
基 礎 力 学		2		2				
商 船 学 数 理 基 礎		1		1				
応 用 数 学		1			1			
キ ャ リ ア デ ザ イ ン 1		1			1			
キ ャ リ ア デ ザ イ ン 2		1				1		
キ ャ リ ア デ ザ イ ン 3		1					1	
海 技 実 習		2	2					
商 船 学 演 習		1		1				
練 習 船 実 習 1		1	1					
練 習 船 実 習 2		1		1				
卒 業 研 究		6					6	
小 計		28	8	10	2	1	7	
航 海 シ ス テ ム 論		2			2			
測 位 シ ス テ ム 論	○	2				2		
地 文 航 海 学		2			2			
天 文 航 海 学	○	2				2		
操 船 論		2			2			
航 海 気 象 学		2			2			
輸 送 安 全 学		2			2			
航 海 法 規		2			2			
海 事 法 規	○	2				2		
海 運 政 策 論	○	2					2	
船 舶 通 信 論	○	2					2	
海 運 実 務 論	○	2					2	
機 関 実 務	○	2					2	
運 用 学 実 験		3			3			
航 海 学 実 験		2				2		
練 習 船 実 習 3		1			1			
練 習 船 実 習 4		2					2	
小 計		34	0	0	16	8	10	
計 測 制 御 工 学		2			2			
舶 用 補 助 機 関 学 1		1			1			
舶 用 補 助 機 関 学 2	○	2				2		
電 気 機 器 学 1		1			1			
電 気 機 器 学 2	○	2					2	
内 燃 機 関 学 1		2			2			
内 燃 機 関 学 2	○	2				2		
燃 料 ・ 潤 滑 工 学		1			1			
蒸 気 機 関 学 1		2			2			
蒸 気 機 関 学 2	○	2					2	
熱 力 学		1			1			
流 体 力 学	○	2				2		
機 械 製 図		2			2			
工 業 材 料 学	○	2					2	
機 関 学 実 務	○	2					2	
舶 用 機 関 学 実 験 1		3			3			
舶 用 機 関 学 実 験 2		2				2		
練 習 船 実 習 3		1			1			
練 習 船 実 習 4		2					2	
小 計		34	0	0	16	8	10	

授業科目	学修単位	単位	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
共通 選択科目	共通	機 械 力 学	○	2				2	
		情 報 処 理	○	2			2		
		C A D 演 習	○	2			2		
		海 事 英 語	○	2			2		
		航 海 実 務	○	2			2		航海コース履修必修
		特 別 講 義	○	1				1	
		イ ン タ ー ン シ ッ プ		1				1	
		航 海 英 語	○	2				2	
		機 関 英 語	○	2				2	
		選 択	※ユニット 選択科目	浮 体 工 学 概 論	○	2			
海 洋 環 境 概 論	○			2				2	浮海
海 上 安 全 工 学	○			2			2		浮
設 備 機 械	○			2				2	エ
熱 輸 送 工 学	○			2				2	エ
有 機 化 学 概 論	○			2			2		エ海
画 像 処 理	○			2			2		ス
ビ ッ グ デ ー タ 解 析	○			2				2	ス
海 事 情 報 処 理	○			2				2	ス
先 端 材 料 工 学	○			2				2	海
開設科目単位数合計		36				14	22		
必 修	専門科目単位数合計		62	8	10	18	9	17	
	一般科目単位数合計		67	24	23	16	1	3	
選 択	専門開設科目単位数合計		36	-	-	-	14	22	
	一般開設科目単位数合計		16	-	-	-	7	9	卒業要件（一般 選択科目8単位 以上）
修得単位数		147以上	32	33	34				
			119以上						
			147以上（一般科目75以上・専門科目62以上）						
大型練習船実習			上記単位数以外に12か月実施する#)						

#)大型練習船実習12月のうち、後期長期実習については、やむを得ない事由がある場合は別に定める措置をとることができる。

※)ユニットのうち1分野全て履修すること。

ユニット選択科目の備考欄はユニットの略称。浮は浮体式設備、エはエネルギープラント、スはスマートシップ、海は海洋環境の略。

別表第2 (第14条関係)
平成31年度以降入学生

専門科目 (商船学科)

授 業 科 目	学修 単位	単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
共 通 必 修 科 目	航海概論		2					
	機関概論		2					
	電気電子理論		2		2			
	基礎船舶工学		2		2			
	情報リテラシー1		1	1				
	情報リテラシー2		1		1			
	基礎力学		2		2			
	応用数学1		1		1			
	応用数学2		1			1		
	キャリアデザイン1		1			1		
	キャリアデザイン2		1				1	
	キャリアデザイン3		1					1
	海技実習		2	2				
	商船学演習		1		1			
練習船実習1		1	1					
練習船実習2		1		1				
卒業研究		6					6	
小 計		28	8	10	2	1	7	
航 海 コ ー ス	航海システム論		2		2			
	測位システム論	○	2			2		
	地文航海学		2		2			
	天文航海学	○	2			2		
	操船論		2		2			
	航海気象学		2		2			
	輸送安全学		2		2			
	航海法規		2		2			
	海事法規	○	2			2		
	海運政策論	○	2				2	
	船舶通信論	○	2				2	
	海運実務論	○	2				2	
	機関実務	○	2				2	
	運用学実験		3		3			
航海学実験		2			2			
練習船実習3		1		1				
練習船実習4		2				2		
小 計		34	0		16	8	10	
機 関 コ ー ス	計測制御工学1		2		2			
	船用補助機関学1		1		1			
	船用補助機関学2	○	2			2		
	電気機器学1		1		1			
	電気機器学2	○	2				2	
	内燃機関学1		2		2			
	内燃機関学2	○	2			2		
	燃料・潤滑工学		1		1			
	蒸気機関学1		2		2			
	蒸気機関学2	○	2				2	
	熱力学		1		1			
	流体力学	○	2			2		
	機械製図1		2		2			
	工業材料学	○	2				2	
機関学実務	○	2				2		
船用機関学実験1		3		3				
船用機関学実験2		2			2			
練習船実習3		1		1				
練習船実習4		2				2		
小 計		34	0	0	16	8	10	

授 業 科 目	学修 単位	単位数	学 年 別 配 当					備 考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
共通選択科目	情 報 処 理	○	2					2	
	海 事 英 語	○	2				2		
	船 舶 通 信 概 論	○	2				2		
	貿 易 物 流 論	○	2					2	
	特 別 講 義	○	1					1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ		1					1	
※選 択 科 目 機 関 コ ー ス	船 舶 設 計 論	○	2					2	
	航 海 実 務	○	2				2		履修必修
	航 海 英 語	○	2					2	
	船 舶 安 全 論	○	2				2		
	基 礎 統 計 学	○	2					2	
	表 現 技 法	○	2					2	
	海 事 国 際 法	○	2					2	
	運 送 保 険 論	○	2					2	
	環 境 科 学 論	○	2					2	
	危 機 管 理 論	○	2					2	
	機 械 製 図 2	○	2				2		
	機 関 英 語	○	2					2	
	計 測 制 御 工 学 2	○	2					2	
	ト ラ イ ボ ロ ジ ー	○	2					2	
	制 御 論	○	2					2	
	応 用 先 端 材 料	○	2					2	
	熱 輸 送 工 学	○	2					2	
	設 備 機 械	○	2					2	
電 力 応 用 工 学	○	2					2		
開設科目単位数合計		30	0	0	0	航海8 機関6	航海22 機関24		
必修	専門科目単位数合計		62	8	10	18	9	17	
	一般科目単位数合計		67	24	23	16	1	3	
選択	専門開設科目単位数合計		30	—	—	—	航海8 機関6	航海22 機関24	
	一般開設科目単位数合計		16	—	—	—	7	9	卒業要件(一般選 択8単位以上)
修得単位数		147以上	32	33	34	119以上 147以上(一般科目75以上・専門科目62以上)			
大型練習船実習			上記単位数以外に12か月実施する#)						

#)大型練習船実習12月のうち、後期長期実習については、やむを得ない事由がある場合は別に定める措置をとることができる。
※は、開設しないこともある。

別表第2 (第14条関係)

専門科目 (情報機械システム工学科 総合工学コース)

授業科目	学修単位	単位	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
学 科 概 論		1	1					
工 学 リ テ ラ シ		2	2					
情 報 工 学 基 礎		1	1					
プ ロ グ ラ ミ ン グ 1		1	1					
プ ロ グ ラ ミ ン グ 2		1			1			
情 報 工 学 1		1		1				
情 報 工 学 2		1		1				
情 報 工 学 3		1			1			
WEB ア プ リ ケ ー シ ョ ン		1			1			
電 気 電 子 基 礎		1	1					
電 気 電 子 工 学		2		2				
電 気 電 子 回 路		2			2			
機 械 工 学 基 礎		1	1					
機 械 加 工 基 礎		2		2				
工 業 力 学 1		1			1			
材 料 学		1			1			
機 構 学		1			1			
機 械 加 工 実 習		1			1			
マ イ コ ン 工 学		1			1			
計 測 工 学		2			2			
工 学 数 理		1			1			
工 業 力 学 2		1			1			
キ ャ リ ア デ ザ イ ン 1		2			2			
キ ャ リ ア デ ザ イ ン 2		2				2		
P B L 1		1	1					
P B L 2		2		2				
P B L 3		2			2			
P B L 4		4				4		
P B L 5		4					4	
情 報 数 学	○	2				2		
ネ ッ ト ワ ー ク シ ス テ ム	○	2				2		
シ ス テ ム 工 学	○	2					2	
古 典 制 御	○	2				2		
材 料 力 学	○	2				2		
機 械 工 作 法	○	2				2		
現 代 制 御	○	2					2	
熱 流 体 力 学	○	2					2	
生 産 工 学	○	2					2	
技 術 者 倫 理	○	2					2	
卒 業 研 究		8					8	
小 計		72	8	8	18	16	22	

必修科目

授業科目		学修単位	単位	学年別配当					備考	
				1年	2年	3年	4年	5年		
選択	※専門性ユニット	A I	○	2				2		デモ
		デジタル信号処理	○	2				2		デス
		センサネットワーク	○	2					2	デモス
		ビッグデータ解析	○	2					2	デ
		数値計算法	○	2					2	デ
		モバイルプログラミング	○	2				2		モ
		画像処理	○	2				2		モ
		サーバー管理	○	2					2	モ
		組込みシステム工学	○	2				2		スメ
		回路設計	○	2					2	スメ
		センサ応用システム	○	2					2	スパメ
		機能材料	○	2				2		パ
		電磁気学	○	2				2		パ
		電力工学	○	2					2	パ
		電気機器	○	2					2	パメ
		機械力学	○	2				2		メ
		特別講義 1	○	1				1		
		特別講義 2	○	1				1		
		特別講義 3	○	1					1	
		特別講義 4	○	1					1	
インターンシップ		1~2				1~2				
小計			38	0	0	0	20	18		
専門	必修科目単位数合計		72	8	8	18	16	22		
	選択科目単位数合計		38	0	0	0	20	18		
一般	開設科目単位数合計		101	24	23	16	25	13		
	修得単位数合計		75以上	24	23	16	12以上			
修得単位数			167以上	32	31	34				
				130以上			167以上（一般科目75以上・専門科目82以上）			

※専門性ユニットのうち1分野全て履修すること。

ユニットの備考欄はユニットの略称。デはデータアナライズ、モはモバイルアプリケーション、スはスマートセンシング、パはパワーエレクトロニクス、メはメカトロニクスの略。

別表第2 (第14条関係)

専門科目 (情報機械システム工学科 高度情報工学コース)

授業科目	学修単位	単位	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
学 科 概 論		1	1						
工 学 リ テ ラ シ		2	2						
情 報 工 学 基 礎		1	1						
プ ロ グ ラ ミ ン グ 1		1	1						
プ ロ グ ラ ミ ン グ 2		1			1				
情 報 工 学 1		1		1					
情 報 工 学 2		1		1					
情 報 工 学 3		1			1				
WEB ア プ リ ケ ー シ ョ ン		1			1				
電 気 電 子 基 礎		1	1						
電 気 電 子 工 学		2		2					
電 気 電 子 回 路		2			2				
デジタルファブリケーション1		1	1						
デジタルファブリケーション2		2		2					
サイバーセキュリティ1		1			1				
D X 概 論		1			1				
デ ー タ サ イ エ ン ス		1			1				
コ ン ピ ュ ー タ ネ ッ ト ワ ー ク		1			1				
マ イ コ ン 工 学		1			1				
計 測 工 学		2			2				
工 学 数 理 基 礎 1		1			1				
工 学 数 理 基 礎 2		1			1				
キ ャ リ ア デ ザ イン 1		2			2				
キ ャ リ ア デ ザ イン 2		2				2			
P B L 1		1	1						
P B L 2		2		2					
P B L 3		2			2				
P B L 4		4				4			
P B L 5		4					4		
情 報 数 学	○	2				2			
ネ ッ ト ワ ー ク シ ス テ ム	○	2				2			
シ ス テ ム 工 学	○	2					2		
サイバーセキュリティ2	○	2				2			
ス マ ー ト 水 産	○	2				2			
ス マ ー ト 農 業	○	2				2			
U I ・ U X デ ザ イン	○	2				2			
G X 概 論	○	2					2		
海 事 情 報 処 理	○	2					2		
技 術 者 倫 理	○	2					2		
卒 業 研 究		8						8	
小 計		72	8	8	18	18	20		

必修科目

授業科目		学修単位	単位	学年別配当					備考	
				1年	2年	3年	4年	5年		
選択	※専門性ユニット	A I	○	2				2		デモサ
		デジタル信号処理	○	2				2		デス
		センサネットワーク	○	2					2	デモスサ
		ビッグデータ解析	○	2					2	デサ
		数値計算法	○	2					2	デ
		モバイルプログラミング	○	2				2		モサ
		画像処理	○	2				2		モファ
		サーバー管理	○	2					2	モサ
		組込みシステム工学	○	2				2		ス
		回路設計	○	2					2	ス
		センサ応用システム	○	2					2	パス
		機能材料	○	2				2		パ
		電磁気学	○	2				2		パ
		電力工学	○	2					2	パ
		電気機器	○	2					2	パファ
		生産工学	○	2					2	ファ
	機械工作法	○	2				2		ファ	
	現代制御	○	2					2	ファ	
共通	特別講義 1	○	1				1			
	特別講義 2	○	1				1			
	特別講義 3	○	1					1		
	特別講義 4	○	1					1		
	インターンシップ		1～2				1～2			
	小計		42	0	0	0	20	22		
専門	必修科目単位数合計		72	8	8	18	18	20		
	選択科目単位数合計		42	0	0	0	20	22		
一般	開設科目単位数合計		101	24	23	16	25	13		
	修得単位数合計		75以上	24	23	16	12以上			
修得単位数			167以上	32	31	34	130以上			
				167以上（一般科目75以上・専門科目82以上）						

※専門性ユニットのうち1分野全て履修すること。

ユニットの備考欄はユニットの略称。デはデータアナライズ、モはモバイルアプリケーション、スはスマートセンシング、パはパワーエレクトロニクス、ファはデジタルファブリケーション、サはサイバーセキュリティの略。

別表第2(第14条関係)

情報機械システム工学科

授業科目の名称	学修 単位	単位	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
学科概論		1	1					
工学リテラシ		2	2					
情報工学基礎		1	1					
プログラミング1		1	1					
プログラミング2		1			1			
情報工学1		1		1				
情報工学2		1		1				
情報工学3		1			1			
WEBアプリケーション		1			1			
電気電子基礎		1	1					
電気電子工学		2		2				
電気電子回路		2			2			
機械工学基礎		1	1					
機械加工基礎		2		2				
工業力学1		1			1			
材料学		1			1			
機械製図		1			1			
機械加工実習		1			1			
マイコン工学		1			1			
計測工学		2			2			
工学数理基礎1		1			1			
工学数理基礎2		1			1			
キャリアデザイン1		2			2			
キャリアデザイン2		2				2		
PBL1		1	1					
PBL2		2		2				
PBL3		2			2			
PBL4		4				4		
PBL5		4					4	
情報数学	○	2				2		
ネットワークシステム	○	2				2		
システム工学	○	2					2	
古典制御	○	2				2		
材料力学1	○	2				2		
機械力学1	○	2				2		
熱流体力学1	○	2				2		
機械設計	○	2					2	
工作法	○	2					2	
技術者倫理	○	2					2	
卒業研究		8					8	
小計		72	8	8	18	18	20	

必
修

授業科目の名称		学修 単位	単位	学年別配当					備考	
				1年	2年	3年	4年	5年		
選 択	※専門性 ユニット	AI	○	2				2		デモ
		デジタル信号処理	○	2				2		デス
		センサネットワーク	○	2					2	デモス
		ビッグデータ解析	○	2					2	デ
		数値計算法	○	2					2	デ
		モバイルプログラミング	○	2				2		モ
		画像処理	○	2				2		モ
		サーバー管理	○	2					2	モ
		組込みシステム工学	○	2				2		ス
		回路設計	○	2					2	ス
		センサ応用システム	○	2					2	スロ
		機能材料	○	2				2		パエ
		電磁気学	○	2				2		パ
		電気工学	○	2					2	パ
		電気機器	○	2					2	パ
		生産工学	○	2					2	パエ
		材料力学2	○	2				2		エロ
		機械工作法	○	2				2		エ
		熱流体力学2	○	2					2	エ
		工業力学2	○	2				2		ロ
機械力学2	○	2					2	ロ		
現代制御	○	2					2	ロ		
共通	特別講義1	○	2				2			
	特別講義2	○	2					2		
	インターンシップ		2				2			
	小計		50	0	0	0	24	26		
専門	必修科目単位数合計		72	8	8	18	18	20		
	選択科目単位数合計		50	0	0	0	24	26		
一般	開設科目単位数合計		101	24	23	16	25	13		
	修得科目単位数合計		75以上	24	23	16	12以上			
修得単位数			167以上	32	31	34				
				130以上						
				167以上（一般科目75以上・専門科目82以上）						

※専門性ユニットのうち1分野すべて履修すること。

ユニットの備考欄はユニットの略称。デはデータアナライズ、モはモバイルアプリケーション、スはスマートセンシング、パはパワーエレクトロニクス、エはエアロスペース、ロはロボティクスの略。

商船学科(ユニット一覧)

令和7年4月以降入学生

浮体式設備

	授業科目の名称	学修 単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
履 修 必 修 科 目	浮体工学概論	○	2	2		
	海洋環境概論	○	2		2	
	海上安全工学	○	2	2		
小 計			6	4	2	

エネルギープラント

	授業科目の名称	学修 単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
履 修 必 修 科 目	設備機械	○	2		2	
	熱輸送工学	○	2		2	
	有機化学概論	○	2	2		
小 計			6	2	4	

スマートシップ

	授業科目の名称	学修 単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
履 修 必 修 科 目	画像処理	○	2	2		
	ビッグデータ解析	○	2		2	
	海事情報処理	○	2		2	
小 計			6	2	4	

海洋環境

	授業科目の名称	学修 単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
履 修 必 修 科 目	海洋環境概論	○	2	2		
	有機化学概論	○	2		2	
	先端材料工学	○	2	2		
小 計			6	4	2	

※必ず一つユニットを選択し、ユニットの授業科目は履修必修とすること

情報機械システム工学科(専門性ユニット別)

令和7年4月以降入学生

データアナライズ

履修 必修 科目	授業科目の名称	学修 単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
	AI	○	2	2		
	デジタル信号処理	○	2	2		
	センサネットワーク	○	2		2	
	ビッグデータ解析	○	2		2	
	数値計算法	○	2		2	
小 計			10	4	6	

モバイルアプリケーション

履修 必修 科目	授業科目の名称	学修 単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
	モバイルプログラミング	○	2	2		
	AI	○	2	2		
	画像処理	○	2	2		
	センサネットワーク	○	2		2	
	サーバー管理	○	2		2	
小 計			10	6	4	

スマートセンシング

履修 必修 科目	授業科目の名称	学修 単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
	組込みシステム工学	○	2	2		
	デジタル信号処理	○	2	2		
	センサネットワーク	○	2		2	
	回路設計	○	2		2	
	センサ応用システム	○	2		2	
小 計			10	4	6	

パワーエレクトロニクス

履修 必修 科目	授業科目の名称	学修 単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
	機能材料	○	2	2		
	電磁気学	○	2	2		
	電力工学	○	2		2	
	電気機器	○	2		2	
	センサ応用システム	○	2		2	
小 計			10	4	6	

メカトロニクス (総合工学コースのみ履修可能)

履修 必修 科目	授業科目の名称	学修 単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
	組み込みシステム工学	○	2	2		
	機械力学	○	2	2		
	電気機器	○	2		2	
	回路設計	○	2		2	
	センサ応用システム	○	2		2	
小 計			10	4	6	

デジタルファブ리케이션（高度情報工学コースのみ履修可能）

	授業科目の名称	学修 単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
履 修 必 修 科 目	画像処理	○	2	2		
	機械工作法	○	2	2		
	電気機器	○	2		2	
	生産工学	○	2		2	
	現代制御	○	2		2	
小 計			10	4	6	

サイバーセキュリティ（高度情報工学コースのみ履修可能）

	授業科目の名称	学修 単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
履 修 必 修 科 目	AI	○	2	2		
	モバイルプログラミング	○	2	2		
	ビッグデータ解析	○	2		2	
	センサネットワーク	○	2		2	
	サーバー管理	○	2		2	
小 計			10	4	6	

情報機械システム工学科(専門性ユニット別)

令和6年4月以前入学生

データアナライズ

履修必修科目	授業科目の名称	学修単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
	AI	○	2	2		
	デジタル信号処理	○	2	2		
	センサネットワーク	○	2		2	
	ビッグデータ解析	○	2		2	
	数値計算法	○	2		2	
小 計			10	4	6	

モバイルアプリケーション

履修必修科目	授業科目の名称	学修単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
	モバイルプログラミング	○	2	2		
	AI	○	2	2		
	画像処理	○	2	2		
	センサネットワーク	○	2		2	
	サーバー管理	○	2		2	
小 計			10	6	4	

スマートセンシング

履修必修科目	授業科目の名称	学修単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
	組込みシステム工学	○	2	2		
	デジタル信号処理	○	2	2		
	センサネットワーク	○	2		2	
	回路設計	○	2		2	
	センサ応用システム	○	2		2	
小 計			10	4	6	

パワーエレクトロニクス

履修必修科目	授業科目の名称	学修単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
	機能材料	○	2	2		
	電磁気学	○	2	2		
	電力工学	○	2		2	
	電気機器	○	2		2	
	生産工学	○	2		2	
小 計			10	4	6	

エアロスペース

履修必修科目	授業科目の名称	学修単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
	機能材料	○	2	2		
	材料力学2	○	2	2		
	機械工作法	○	2	2		
	熱流体力学2	○	2		2	
	生産工学	○	2		2	
小 計			10	6	4	

ロボティクス

履修必修科目	授業科目の名称	学修単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
	工業力学2	○	2	2		
	材料力学2	○	2	2		
	機械力学2	○	2		2	
	センサ応用システム	○	2		2	
	現代制御	○	2		2	
小 計			10	4	6	

情報機械システム工学科(志向性ユニット別)

令和7年4月以降入学生
開発・設計

履修必修科目	授業科目の名称	学修単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
	応用科学1	○	2	2		4科目以上履修すること
	応用科学2	○	2	2		
	応用数学1	○	2	2		
	応用数学2	○	2	2		
	応用数学3	○	2		2	
	応用数学4	○	2		2	
小 計			12	8	4	

生産技術

履修必修科目	授業科目の名称	学修単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
	コミュニケーションスキル	○	2	2		
	プレゼンテーションスキル	○	2	2		
	国際関係論	○	2	2		
	社会政策論	○	2		2	
小 計			8	6	2	

顧客対応

履修必修科目	授業科目の名称	学修単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
	コミュニケーションスキル	○	2	2		
	プレゼンテーションスキル	○	2	2		
	経済学	○	2	2		
	法学	○	2		2	
小 計			8	6	2	

ビジネス基礎

履修必修科目	授業科目の名称	学修単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
	国際関係論	○	2	2		
	経済学	○	2	2		
	ビジネス基礎	○	2	2		
	工業簿記	○	2	2		
小 計			8	8	0	

国際性

履修必修科目	授業科目の名称	学修単位	単位	学年別配当		備考
				4年	5年	
	国際関係論	○	2	2		4科目以上履修すること
	総合英語1	○	2	2		
	総合英語2	○	2	2		
	総合英語3	○	2		2	
	総合英語4	○	2		2	
小 計			10	6	4	

※必ず一つ志向性ユニットを選択し、ユニットの授業科目は履修必修とすること

別表

校内練習船実習内容

航海コース

実習項目	時間	細目
船舶要務	10	船内要務、運航概要
当直実習	45	船橋当直法、機関当直法、機関運転法、停泊当直法
運用実習	25	投抜錨法、甲板機器の取扱い、船体属具の保守整備、操船法、出入港法(係留及び離着岸法)、運動性能測定
航海実習	25	航海計器の取扱い、沿岸航法、狭水道通過法、夜間航行法、天文航法、電波航法
機関管理	20	機関要目、機器・装置の性能検査、機関整備
保安応急法	15	保安応急部署及び対策
合計	140	

校内練習船実習内容

機関コース

実習項目	時間	細目
船舶要務	10	船内要務、運航概要
当直実習	45	機関当直法、船橋当直法、停泊当直法、機関運転法
運用実習	15	投抜錨法、甲板機器の取扱い、船体属具の保守整備、出入港法、運動性能測定
航海実習	15	航海計器の取扱い、沿岸航法、狭水道通過法、天文航法、電波航法
機関管理	40	機関要目、機器・装置の性能検査、機関整備、機関要務
保安応急法	15	保安応急部署及び対策
合計	140	

別表第3 (第40条関係)

海 事 シ ス テ ム 学 専 攻

令和7年10月以降入学生

区 分	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当				備 考
			1年 秋期	1年 春期	2年 秋期	2年 春期	
一 般 科 目	○現代英語	2		2			
	○英会話	2	2				
	日本文化論	2				2	
	社会科学特論	2			2		
	一般科目開設単位小計	8	2	2	2	2	
	一般科目 修得単位	6 以上					
専 門 共 通 科 目	解析学	2			2		
	線形代数	2	2				
	確率論	2		2			
	数値解析	2				2	
	テクニカルライティング	2	2				
	破壊工学	2			2		
	流体工学	2				2	
	伝熱工学	2		2			
	画像情報処理	2	2				
	環境化学	2		2			
	生体工学	2			2		
	専門共通科目開設単位数	22	6	6	6	4	
	専門共通科目 修得単位	16 以上					
門 科 目	○海事システム学特別研究Ⅰ	5	2	3			
	○海事システム学特別研究Ⅱ	5			3	2	
	○海事システム学実験Ⅰ	3	1	2			
	○海事システム学実験Ⅱ	3			1	2	
	海事システム学特別実習	2		2			
	航法システム論	2	2				
	海事輸送安全学	2				2	
	海事教育システム学	2			2		
	海事通信工学	2				2	
	船舶と海上交通の科学	2	2				
	船舶抵抗推進論	2	2				
	材料設計工学	2		2			
	蒸気動力システム工学	2	2				
	原動機システム工学	2			2		
	冷凍空調工学	2		2			
	機械要素	2		2			
	船用電機システム工学	2				2	
	船舶システム制御工学	2			2		
	コンピュータ制御	2				2	
	マルチメディア工学	2			2		
海洋環境科学	2		2				
	専門専攻科目開設単位数	50	11	15	12	12	
	専門専攻科目 修得単位	40 以上					
	専門科目開設単位小計	72	17	21	18	16	
	専門科目修得単位	56 以上					
	一般・専門科目開設単位合計	80	19	23	20	18	
	一般・専門科目 修得単位 合計	62 以上					

- (注) 1. ○印は必修科目
 2. 別に定める放送大学等での科目を修得した場合、その単位のうち16単位を上限とし、修得単位に含めることができる。
 3. 専門科目(海事システム学特別研究、海事システム学実験、海事システム学特別実習は除く)は隔年授業とすることができる。

別表第3（第40条関係）

海 事 シ ス テ ム 学 専 攻

令和4年10月以降入学生

区 分	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当				備 考
			1年 秋期	1年 春期	2年 秋期	2年 春期	
一 般 科 目	○現代英語A	1	1				
	○現代英語B	1		1			
	○英会話A	1	1				
	○英会話B	1		1			
	日本文化論	2				2	
	社会科学特論	2			2		
	一般科目開設単位小計	8	2	2	2	2	
	一般科目 修得単位	6 以上					
専 門 共 通 科 目	解析学	2			2		
	線形代数	2	2				
	確率論	2		2			
	数値解析	2				2	
	テクニカルライティング	2	2				
	破壊工学	2			2		
	流体工学	2				2	
	先端材料工学	2		2			
	画像情報処理	2	2				
	環境化学	2		2			
	生体工学	2			2		
	専門共通科目開設単位数	22	6	6	6	4	
	専門共通科目 修得単位	16 以上					
門 科 目	○海事システム学特別研究Ⅰ	5	2	3			
	○海事システム学特別研究Ⅱ	5			3	2	
	○海事システム学実験Ⅰ	3	1	2			
	○海事システム学実験Ⅱ	3			1	2	
	海事システム学特別実習	2		2			
	航法システム論	2	2				
	海事輸送安全学	2				2	
	海事教育システム学	2			2		
	海事通信工学	2				2	
	船舶と海上交通の科学	2	2				
	船舶抵抗推進論	2	2				
	材料設計工学	2		2			
	蒸気動力システム工学	2	2				
	原動機システム工学	2			2		
	冷凍空調工学	2		2			
	機械要素	2		2			
	船用電機システム工学	2				2	
	船舶システム制御工学	2			2		
	コンピュータ制御	2				2	
	マルチメディア工学	2			2		
海洋環境科学	2		2				
	専門専攻科目開設単位数	50	11	15	12	12	
	専門専攻科目 修得単位	40 以上					
	専門科目開設単位小計	72	17	21	18	16	
	専門科目修得単位	56 以上					
	一般・専門科目開設単位合計	80	19	23	20	18	
	一般・専門科目 修得単位 合計	62 以上					

- (注) 1. ○印は必修科目
 2. 別に定める放送大学等での科目を修得した場合、その単位のうち16単位を上限とし、修得単位に含めることができる。
 3. 専門科目（海事システム学特別研究、海事システム学実験、海事システム学特別実習は除く）は隔年授業とすることができる。

別表第3（第40条関係）

生産システム工学専攻

令和7年度以降入学生

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	
一般科目	○現代英語	2	2				
	○英会話	2		2			
	日本文化論 社会科学特論	2 2			2		2
一般科目開設単位小計		8	2	2	2	2	
一般科目 修得単位		6 以上					
専 門 共 通 科 目	解析学	2		2			
	線形代数	2				2	
	確率論	2			2		
	数値解析	2	2				
	テクニカルライティング	2				2	
	破壊工学	2		2			
	流体工学	2	2				
	伝熱工学	2			2		
	画像情報処理	2				2	
	環境化学	2			2		
	生体工学	2		2			
専門共通科目開設単位数		22	4	6	6	6	
専門共通科目 修得単位		16 以上					
門 科 目	○生産システム工学特別研究Ⅰ	5	2	3			
	○生産システム工学特別研究Ⅱ	5			3	2	
	○生産システム工学特別演習Ⅰ	1		1			
	○生産システム工学特別演習Ⅱ	1			1		
	○生産システム工学実験Ⅰ	2	1	1			
	○生産システム工学実験Ⅱ	2			1	1	
	生産システム工学特別実習	2	2				
	材料設計工学	2	2				
	生産システム工学	2				2	
	振動工学	2			2		
	内燃システム工学	2		2			
	オートマトン理論	2	2				
	電子物性工学	2				2	
	機能素子工学	2		2			
	光伝送工学	2	2				
	電機システム工学	2			2		
	システム制御	2			2		
	ロボット制御工学	2				2	
	アルゴリズム論	2	2				
	数理計画法	2		2			
	情報ネットワーク技術	2				2	
デジタル信号処理	2			2			
マルチメディア工学	2		2				
専門専攻科目開設単位数		50	13	13	13	11	
専門専攻科目 修得単位		40 以上					
専門科目開設単位小計		72	17	19	19	17	
専門科目修得単位		56 以上					
一般・専門科目開設単位合計		80	19	21	21	19	
一般・専門科目 修得単位 合計		62 以上					

- (注) 1. ○印は必修科目
2. 別に定める放送大学等での科目を修得した場合、その単位のうち16単位を上限とし、修得単位に含めることができる。
3. 専門科目（生産システム工学特別研究、生産システム工学特別演習、生産システム工学実験、生産システム工学特別実習は除く）は隔年授業とすることができる。

別表第3 (第40条関係)

生産システム工学専攻

令和3年度以降入学生

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	
一般科目	○現代英語Ⅰ	1	1				
	○現代英語Ⅱ	1		1			
	○英会話Ⅰ	1	1				
	○英会話Ⅱ	1		1			
	日本文化論	2			2		
	社会科学特論	2				2	
	一般科目開設単位小計	8	2	2	2	2	
	一般科目 修得単位	6 以上					
専門科目	解析学	2		2			
	線形代数	2				2	
	確率論	2			2		
	数値解析	2	2				
	テクニカルライティング	2				2	
	破壊工学	2		2			
	流体工学	2	2				
	先端材料工学	2			2		
	画像情報処理	2				2	
	環境化学	2			2		
	生体工学	2		2			
		専門共通科目開設単位数	22	4	6	6	6
	専門共通科目 修得単位	16 以上					
専門科目	○生産システム工学特別研究Ⅰ	5	2	3			
	○生産システム工学特別研究Ⅱ	5			3	2	
	○生産システム工学特別演習Ⅰ	1		1			
	○生産システム工学特別演習Ⅱ	1			1		
	○生産システム工学実験Ⅰ	2	1	1			
	○生産システム工学実験Ⅱ	2			1	1	
	生産システム工学特別実習	2	2				
	材料設計工学	2	2				
	生産システム工学	2				2	
	振動工学	2			2		
	内燃システム工学	2		2			
	オートマトン理論	2	2				
	電子物性工学	2				2	
	機能素子工学	2		2			
	光伝送工学	2	2				
	電機システム工学	2			2		
	システム制御	2			2		
	ロボット制御工学	2				2	
	アルゴリズム論	2	2				
	数理計画法	2		2			
	情報ネットワーク技術	2				2	
	デジタル信号処理	2			2		
マルチメディア工学	2		2				
	専門専攻科目開設単位数	50	13	13	13	11	
	専門専攻科目 修得単位	40 以上					
	専門科目開設単位小計	72	17	19	19	17	
	専門科目修得単位	56 以上					
	一般・専門科目開設単位合計	80	19	21	21	19	
	一般・専門科目 修得単位 合計	62 以上					

- (注) 1. ○印は必修科目
 2. 別に定める放送大学等での科目を修得した場合、その単位のうち16単位を上限とし、修得単位に含めることができる。
 3. 専門科目(生産システム工学特別研究、生産システム工学特別演習、生産システム工学実験、生産システム工学特別実習は除く)は隔年授業とすることができる。